

「第 11 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会」
 —医療科学類 4 年生 シンポジストとして参加—

医学医療系 服部 圭一朗
 會田 雄一
 二宮 治彦

平成 30 年 8 月 11 日（土）に茨城県立医療大学において「第 11 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会」が開催されました。この学術集会は、「地域包括ケア時代における連携教育と多職種協同実践」をテーマとして、多職種の専門家が各々の持つ専門性・機能を持ちよって、発表や討論、シンポジウムなどを通して共有しあうものです。同学会の理念は IPW（interprofessional work：専門職連携実践）という用語でも表現されており、その実践能力は卒前教育の段階から、その基盤教育となる IPE（interprofessional education：専門職連携教育）によって培うべきものとされています。

本年度、学術集会では「学生・卒業生の立場から IPE を語ろう！」というテーマで 4 大学合同のシンポジウムが開催されました。本学からは、医学類 6 年の梅山翔平さんと、医療科学類 4 年の大橋慶子さん、小林昴平さんに参加して頂き、茨城県立医療大学、埼玉県立大学、国際医療福祉大学の学生とともに各大学で行われている IPE についてのプレゼンテーション及び討論を行って頂きました。



シンポジウム会場の様子



本学からは、梅山翔平さん、大橋慶子さん、小林昴平さんに参加して頂きました。写真は発表前の様子です。



医学類の IPE についてフィードバックして頂きました。



最後に参加者全員で集合写真を撮影しました。



続いて、医療科学類の IPE に関する発表です。



御協力ありがとうございました。



各大学の発表が終わった後は、グループワークが行われました。写真は大橋さんがチームリーダーとなってまとめている様子です。

筑波医療科学 第14巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2018年9月4日